



報道関係各位

2015年10月13日

公益財団法人 消費者教育支援センター  
シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社

## 中高年の女性向けプログラム「女性のための暮らしとお金の教室」を

### 広島・佐賀・秋田・愛媛の4県で10月より開催

公益財団法人消費者教育支援センター(理事長:櫻井純子、以下、NICE)は、金融経済教育支援の一環として、外資系金融機関であるシティと協力して、全国地域婦人団体連絡協議会(以下、地婦連)の会員などを対象に、中高年の女性向けプログラムである「女性のための暮らしとお金の教室」を2015年10月から2016年2月までに広島、佐賀、秋田、愛媛の4県で実施します。各県50名程度の受講者を県の婦人会などを通じて募集します。

「女性のための暮らしとお金の教室」は、2011年度に地婦連の会員を対象に実施したニーズ調査をもとに、中高年の女性が持つ将来の経済的な不安を解消するために開講されました。セカンドライフに必要な生活費や貯蓄と年金の把握、お金のトラブルへの備え、無理なくできる家計管理、暮らしに活かせるマネープランなど様々なテーマについて学べるようプログラム構成されています。プログラムやテキストの作成にあたっては、2011年に実施したニーズ調査や、受講者へのアンケートなどの意見を参考に、講座やワークショップの講師や、金融関係者によって構成された検討委員会によって内容の検討・評価を行っています。

当プログラムは各県で2年ワンサイクルという構成になっており、1年目は暮らしとお金に関わる家計や貯蓄に関する内容の基礎講座を、4日間8コマに分けて行っています。2年目には、1年目の基礎講座の内容を深める目的で、家計の事例検討や暮らしとお金のQ&Aづくりなどの応用講座を実施しています。

2015年度は基礎講座を広島県と佐賀県、応用講座を昨年基礎講座を行った秋田県と愛媛県で実施します。さらに、今年度は2016年2月に愛知県にて100名程度を対象に、各県の婦人会での暮らしとお金に関わる実践報告や、セカンドライフを豊かに過ごすためのライフプランの大切さを考えるパネルディスカッションを内容とするシンポジウムを実施する予定です。

詳しくは、添付内容をご覧ください。

###

### シティの金融経済教育支援について

シティは、世界160以上の国と地域に約2億の顧客口座を有する世界有数のグローバルな銀行です。1902年、シティバンクが横浜に日本において最初の支店を開設して以来、シティは日本において、多様性があり広く知られた外資系の金融機関として成長を遂げてまいりました。シティは、「金融経済教育を提供することによって、あらゆる人が夢を実現するチャンスを得ることができる」という理念のもと、金融経済教育の支援に力をいれています。ただ単にお金の役割、経済・金融の知識を得るだけでなく、教育を通して、将来の職業選択や生活設計を自分で考えて夢を実現するための考える力、生きる力を養うことを目的としています。詳しくは [www.citigroup.jp](http://www.citigroup.jp) をご覧ください。

### シティ・ファンデーションについて

シティ・ファンデーションは、世界の各地域社会における経済的発展を推進し、生活水準向上の支援に焦点をあて活動しています。また、低所得者や地域の経済状況の改善が目に見えるかたちでなされるよう、優れた団体組織と連携して取り組んでいます。「慈善活動を超えて」という姿勢の基、事業資源、人的資本の活用により、シティの社会貢献活動はより効果的に行われています。詳しくは [www.citifoundation.com](http://www.citifoundation.com) をご覧ください

### 公益財団法人消費者教育支援センターについて

消費者教育の総合的かつ効果的な推進を図ることを目的に、1990年に経済企画庁（現消費者庁および内閣府）と文部省（現文部科学省）が所管する財団法人として設立され、2012年4月に公益財団法人に移行しました。主な活動としては、消費者教育に関する調査研究や教材開発、シンポジウムやセミナーの開催、企業・行政を対象とする教材資料表彰、講座運営および講師派遣、機関誌『消費者教育研究』の発行などを行っています。詳しくは [www.consumer-education.jp](http://www.consumer-education.jp) をご覧ください。

### 全国地域婦人団体連絡協議会について

地域婦人団体の連絡協議機関としてその共通の目的である男女平等の推進、青少年の健全育成、家庭生活並びに社会生活の刷新、高齢化社会への対応、地域社会の福祉増進、世界平和の確立などの実現につとめることを目的としています。詳しくは [www.chifuren.gr.jp](http://www.chifuren.gr.jp) をご覧ください。

###

報道関係お問い合わせ先：

公益財団法人 消費者教育支援センター(NICE)

Tel: 03-5466-7341

[添付資料]

実施概要

**【添付資料】 「女性のためのくらしとお金の教室」 実施概要**

**<基礎講座>**

**広島県** 日程 1日目:10月10日(土) 2日目:10月20日(火)  
 3日目:10月31日(土) 4日目:11月14日(土)  
 会場 三原市ゆめきやりあセンター (広島県三原市館町2-5-2)

**佐賀県** 日程 1日目:11月9日(月) 2日目:11月24日(火)  
 3日目:12月3日(木) 4日目:12月22日(火)  
 会場 グランデはがくれ (佐賀県佐賀市天神2-1-36)

	時間	テーマ	概要	講師
1 日 目	10:15~10:30	開会挨拶、ガイダンス		
	10:30~12:00	くらしとお金のキホン - 女性の生き方と生活設計 -	くらしとお金に関する不安や課題を把握し今後のくらしを見据えた生活設計の在り方を学びます。	椋山女学園大学 教授 東 珠実
	13:00~14:30	素敵なセカンドライフのために - 生活費・貯蓄と年金 -	これから必要となるお金や年金について知り、貯蓄や投資を見直す際のポイントを学びます。	ファイナンシャル プランナー 井戸 美枝
2 日 目	10:00~11:30	お金のトラブルに備えて(1) - 金融商品と契約 -	金融商品に関わるトラブル事例から、契約時の注意点や対策について学びます。	弁護士 安彦 和子
	12:30~14:00	お金のトラブルに備えて(2) - 遺言・相続と税金 -	改正された相続税法の内容を踏まえながら、遺言や相続の基本について学びます。	弁護士 安彦 和子
3 日 目	10:00~11:30	将来の不安・病気に備えて - 医療・介護と保険 -	公的な生活保障の活用方法や、生命保険の見直しのポイントなどについて学びます。	公益財団法人 生命保険文化 センター 鍵山 文彦
	12:30~14:00	無理なくできる家計管理 - 家計の見直し術 -	家計把握シートを使った家計の概算額のつかみ方や、家計相談の事例から見直しのコツについて学びます。	ファイナンシャル プランナー 北見 久美子
4 日 目	10:00~11:30	くらしに活かせる マネープランの作り方	セカンドライフのイベントや収支を見通したマネープランの作り方を学びます。	ファイナンシャル プランナー 北見 久美子
	12:30~14:00	ワークショップ	作成したマネープランから改善点を探し、プランを見直していくためのポイントを学びます。	ファイナンシャル プランナー 北見 久美子
	14:00~14:30	茶話会(修了証・記念品の贈呈)		

＜応用講座＞

秋田県 日程 1日目:11月21日(土) 2日目:12月12日(土)  
 会場 潟上市飯田川公民館(潟上市飯田川下虻川字八ツ口66)  
 愛媛県 日程 1日目:2016年1月16日(土) 2日目:1月23日(土)  
 会場 メルパルク松山(松山市道後姫塚123-2)

	時間	テーマ	概要	講師
1 日 目	10:15~10:30	開会挨拶、ガイダンス		
	10:30~12:00	くらしに活かすお金の情報 -金利・利息の基礎知識-	お金の使い道にあった運用方法について、利率や積立期間の違いによる効果を実感できるワークをしながら学びます。	ファイナンシャル プランナー 井戸 美枝
	13:00~14:30	大切なお金を守るために -相続と税金の最新事情-	資産を遺言・相続をするときに気をつけたいことや、税制の改正で贈与などのやり方がどう変わるのか学びます。	弁護士 安彦 和子
2 日 目	10:30~12:00	相談事例から学ぶ 生活設計・家計の見直し術	様々な生活設計・家計の相談事例をもとに、生活設計・家計の見直しの具体的な方法について学びます。	ファイナンシャル プランナー 北見 久美子
	13:00~14:30	＜ワークショップ＞ くらしとお金の Q&A	「くらしとお金」に関わる疑問を Q&A にまとめ、家族や身近な人にわかりやすく伝える工夫を考えます。	椋山女学園大学 教授 東 珠実

＜シンポジウム＞

日程 2016年2月28日(日) 13:00~16:00  
 会場 ウィル愛知(愛知県女性総合センター)  
 対象 一般の方100名程度  
 参加費 無料  
 実施内容 基調講演(講師:有馬真喜子)、事例報告、パネルディスカッション  
 ※詳細については、後日ご案内